

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名

青森県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	川内町立川内中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数 16
学級数	2	2	2	1	7	
生徒数	43	60	59	1	163	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身につけさせるための指導法の研究
- 基礎的・基本的事項の定着をめざして -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- * 全学年・全教科
・基礎・基本の定着を図るため。
- * TTを導入した形態での授業
・1, 2年生・数学・英語
生徒の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。
- * 習熟の程度に応じた授業
・2, 3年生・英語 3年生・数学
少人数の授業で生徒のつまづきに効果的に対応するため。

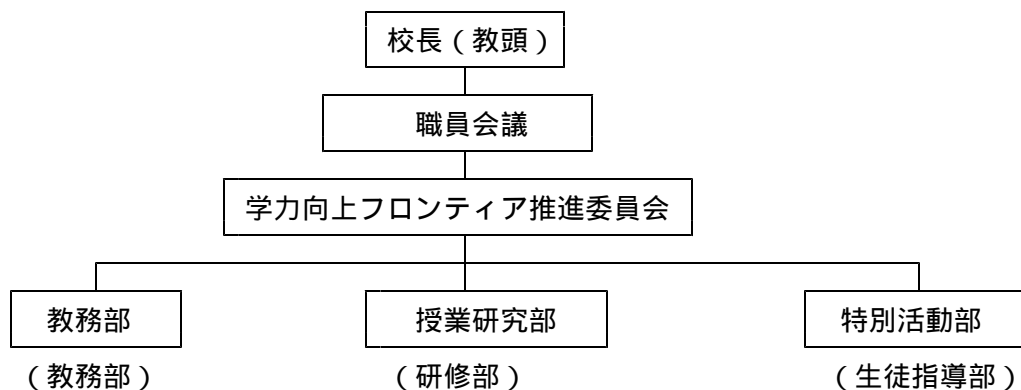
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせるための指導法の研究 - 基礎的・基本的事項の定着をめざして -</p> <p>仮説 各教科において、指導目標を明らかにし、生徒が主体的に学ぶ学習活動を進めていけるように、教師が個々の生徒を生かす支援を工夫し、適切な指導が行われれば、学習意欲が喚起されるとともに、確かな学力が身に付く指針が見いだされると思われる。</p> <p>研究内容・方法 授業での研究内容 ・個を生かす授業 ・TT導入の授業 ・習熟に応じた授業 特別活動での研究内容 ・朝の諸活動 ・生徒会主催の計算、英単語、漢字大会</p>
----------------	---

平成 15 年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせるための指導法の研究 - 基礎的・基本的事項の定着をめざして -</p> <p>仮説 各教科において、個に応じ、学習意欲を喚起するための教材や指導方法を開発し、生徒の学力の評価を生かした指導の改善を進めていくことにより、基礎・基本が確実に身に付くものと思われる。</p> <p>研究内容・方法 授業での研究内容 ・個を生かす授業 ・TT導入の授業 ・習熟に応じた授業 特別活動での研究内容 ・朝の諸活動 ・生徒会主催の計算、英単語、漢字大会 ・基礎学習の時間(帰りの会)</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけさせるための指導法の研究 - 基礎的・基本的事項の定着をめざして -</p> <p>仮説 各教科において、個に応じ、学習意欲を喚起するための教材や指導方法を開発し、生徒の学力の評価を生かした指導の改善を継続することより、基礎・基本が確実に身に付き、生徒自身が自らの課題を把握し、積極的に取り組むようになると思われる。</p> <p>研究内容・方法 授業での研究内容 ・個を生かす授業 ・TT導入の授業 ・習熟に応じた授業 特別活動での研究内容 ・朝の諸活動 ・生徒会主催の計算、英単語、漢字大会 ・基礎学習の時間（帰りの会）</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



- 学力フロンティア推進委員会(教頭・ 研修主任・生徒指導部主任・教務主任)
- ・ 全体計画、研究の推進、資料の累積、要項資料作り、実態調査、諸検査、関係機関との連携
- 授業研究部(研修部)
- ・ 年間指導計画、授業研究(指導案、指導過程、教材開発、指導法指導体制、評価と活用)
 - ・ ティームティーチング(TT)を取り入れた授業の改善(数学・英語で)
- 特別活動部(生徒指導部)
- ・ 基礎的生活習慣(「中学生ガイドブック」の編集と指導)
 - ・ 総合的な学習
 - ・ 特活的な学習(生徒会、学年・学級活動全般の活動の基本)
- 教務部(教務部)
- ・ 授業以外の教科的な活動(「基礎学習」の計画と運営、諸検定)
 - ・ 習熟度別指導に取り組む。(「基礎学習」と「選択教科」)

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発
- ・ 習熟度別クラスに応じた課題の作成。(数学、英語)
 - ・ 教具等を活用し、視覚に訴えるような工夫ができた。(国語、英語)
 - ・ 「パワーポイント」を使った授業ソフト
コンピュータを利用し、その中で効果的に自作の資料を提示することで興味関心を促すことができた。また、見るだけでなく、ワークシートに記入させたり、考えさせたりすることで、社会的考察を高めさせることができた。(社会)
 - ・ 基礎レベルから応用レベルまでの幅広い内容の課題の作成。
実験器具の工夫。(理科)
 - ・ 難しい音程をピアノを使って練習させる方法。(音楽)
 - ・ 自作ビデオの作成 写生場所をビデオテープに録画編集。(美術)
 - ・ 住宅展示場をビデオテープに録画編集。(家庭)
 - ・ 器械運動の授業での器具の工夫。(保健体育)
 - ・ 実習教材の段階毎の見本づくり。(技術・家庭)

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善

- ・グループ学習で教えあう学習体制。TTでは、一人一人の考えを導き出してあげることや発表が苦手な生徒の援助ができた。(数学)
- ・TTでは、ロールプレイや英会話ができたり、ペア学習がスムーズであった。習熟度別学習では、能力に応じて進歩がみられた。できなかったことができるようになった喜びを感じ、次の意欲づけにつながっている生徒もいる。ワークシートの添削指導。(英語)
- ・課題解決学習 自分のテーマを解決するために、インターネット等を利用し、調べさせることによって、興味関心を促すことができた。また、社会的考察を高めさせることができた。基礎基本の定着のために、国語辞典を利用し、語句の意味を調べることで重要語句の定着を図ることができた。(社会)
- ・主体的学習場面の工夫
可能な限り実験を取り入れた授業展開を心掛けた。身近な物を用いて、一人に一つのデータをとらせた。少人数で実験できるようにし、複数回行い、役割も代わられるようにした。(理科)
- ・鑑賞分野は一人一人の感想をチェックし、コメントを書き、聴く楽しさ、音楽の美しさを感じさせるようにしている。(音楽)
- ・進度が同じ生徒集団づくり。つまづきが同じ生徒集団づくり。(美術、技術)
- ・段階別学習。(保健体育)

生徒の学力の評価を生かした指導の改善

- ・生徒の自己評価
自己評価をさせることで、次への意欲関心につながった。教師のコメントを書き、次の目標の指示や意欲の高揚を図った。また、教師の授業改善につながった。
- ・机間指導で、評価・支援を行った。
- ・ワークシートの添削、ノート点検による評価。
- ・生徒同士の相互評価。
- ・定期テスト観点別得点表の活用。

「標準学力検査結果」(到達率・全国比)

H 1 5 年 4 月 実施

現 2 学年

	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
平成 1 4 年度	1 0 3 . 8	8 3 . 3	8 9 . 7	1 0 0 . 7	/
平成 1 5 年度	1 0 1 . 2	8 9 . 4	7 9 . 9	1 0 0 . 7	9 1 . 9
変化の様子	- 2 . 6	+ 6 . 1	- 9 . 8	0	/

- ・数学では「数と式」(75%)、英語では「書くこと」(79%)を重点的に指導する必要がある。

現 3 学年

	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
平成 1 4 年度	9 9 . 8	8 4 . 8	8 4 . 1	1 0 3 . 9	8 9 . 5
平成 1 5 年度	1 0 1 . 2	8 7 . 0	7 9 . 3	1 0 1 . 1	8 0 . 8
変化の様子	+ 1 . 4	+ 2 . 2	- 4 . 8	- 2 . 8	- 8 . 7

- ・数学では「数と式」(70%)、英語では「聞くこと」(78%)、「書くこと」(78%)を重点的に指導する必要がある。

2. 今後の課題

- ア 学習事項を定着させるための効率的な教材の作成とその有効な活用方法。
- イ 学習事項の定着を図るために、自主学習の学び方指導を行い、家庭学習を継続的実施のための支援。
- ウ 習熟度・TT指導など個に応じた指導を有効に行うための手立ての確立。
- エ 教科の特性をふまえた評価規準等の工夫改善。
- オ 教材研究の時間の確保。

学力把握のための学校としての取組

「基礎学習」、全校生徒を対象とした学期毎の「学習に関する自己評価」、「家庭学習アンケート」、「少人数学習アンケート」を実施している。また、4月に「標準学力検査」を実施し、教科ごとにその分析と考察を行った。

ア 「基礎学習」

- ・実施時間 毎日帰りの会前20分間
- ・学習内容と使用教材 国語：漢字の読み書き練習 『マルカン』（正進社）漢字練習帳
数学：計算練習 数学科自作プリント
英語：英単語の練習 英語科自作プリント
- ・合格点数 80点以上
- ・テスト後の処理
 - ・各学年の平均点、合格者数、満点者数、合格率を学級に掲示し、意欲向上を図る。
 - ・個人のデータを年間で蓄積し、成果を確認する。
 - ・通信票に「合格回数」、「満点回数」を記入する。

毎日帰りの会の前20分間を利用し、1週間交代で実施することにより、基礎的な学力が少しずつではあるが向上してきている。

確認テスト（学年平均と合格率）

教科	国 語					
	1年		2年		3年	
	平均	合格率	平均	合格率	平均	合格率
1回目	81.8	72	89.7	81	88.4	82
2回目	79.3	61	88.2	86	90.1	87
3回目	80.5	73	91.1	89	91.1	88
4回目	85.7	72	89.2	90	90.0	92

教科	数 学					
	1年		2年		3年	
	平均	合格率	平均	合格率	平均	合格率
1回目	95.1	98	86.6	78	79.2	82
2回目	89.2	89	83.7	74	61.3	26
3回目	81.6	74	73.5	60	84.3	78
4回目	85.5	84	84.6	74	77.3	71

教科	英 語					
	1年		2年		3年	
	平均	合格率	平均	合格率	平均	合格率
1回目	70.2	56	59.3	40	75.5	57
2回目	67.7	52	63.7	44	75.5	64
3回目	78.4	64	76.5	61	80.0	71
4回目	76.1	61	79.1	68	82.3	76

イ 「学習に関する自己評価」
《第1学年の結果》

H15、12月実施結果
〔在籍生徒44名〕

評価内容		学期	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	学習課題を理解して授業に取り組んでいる。	1	36%	39%	25%	0%	0%
		2	18	34	46	2	0
2	指名されたら、ハッキリ返事をしている。	1	27	34	34	5	0
		2	16	41	36	7	0
3	友達や先生の話に真剣に耳を傾けている。	1	18	41	41	0	0
		2	11	32	46	9	2
4	積極的に自分の意見を発表している。	1	25	16	36	23	0
		2	9	16	40	30	5
5	授業の活動場で積極的に活動している。	1	30	32	29	9	0
		2	18	25	43	14	0
6	新しい学習課題を知りたいと思いつき取り組んでいる。	1	25	39	29	7	0
		2	14	23	54	7	2
7	授業態度(姿勢)良く、学習に取り組んでいる。	1	14	36	34	16	0
		2	18	20	42	18	2
8	学習用具を忘れることなくきちんと準備している。	1	36	34	18	11	0
		2	39	34	16	11	0
9	教科書や用具を整え、ベルを着している。	1	61	21	13	5	0
		2	41	27	23	9	0
10	計画的に家庭学習をしている。	1	48	14	27	9	2
		2	18	27	34	16	5

・「4」について...学習内容が難しくなり、積極的に自分の意見を発表できなくなっていると思われる。

・「10」について...他学年よりは家庭学習がやられている。

《第2学年の結果》

〔在籍生徒60名〕

評価内容		年度	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	学習課題を理解して授業に取り組んでいる。	14	18%	27%	49%	6%	0%
		15	23	29	42	5	1
2	指名されたら、ハッキリ返事をしている。	14	14	26	42	15	3
		15	14	35	40	8	3
3	友達や先生の話に真剣に耳を傾けている。	14	18	26	45	10	1
		15	21	33	36	9	1

4	積極的に自分の意見を発表している。	14	12	12	32	24	20
		15	13	10	34	30	13
5	授業の活動場で積極的に活動している。	14	18	23	47	10	2
		15	27	17	41	13	2
6	新しい学習課題を知りたいと思いつき取り組んでいる。	14	15	20	47	14	4
		15	17	17	52	10	4
7	授業態度(姿勢)良く、学習に取り組んでいる。	14	16	25	42	14	3
		15	22	13	49	15	1
8	学習用具を忘れることなくきちんと準備している。	14	18	30	34	14	4
		15	42	26	24	8	0
9	教科書や用具を整え、ベルを着している。	14	26	26	28	14	6
		15	33	18	34	14	1
10	計画的に家庭学習をしている。	14	22	9	27	25	17
		15	9	9	24	28	30

- ・「4」について...わかっている、恥ずかしい、面倒など消極的な発表態度である。
- ・「10」について...半数以上が、勉強の仕方がわからない、時間がない、疲れて眠いなどの理由で家庭学習が思うようにやられていない。

《第3学年の結果》

〔在籍生徒59名〕

評価内容		年度	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	学習課題を理解して授業に取り組んでいる。	14	12	26	46	13	3
		15	15	34	39	11	1
2	指名されたら、ハッキリ返事している。	14	18	27	39	13	3
		15	23	27	38	9	3
3	友達や先生の話に真剣に耳を傾けている。	14	16	22	43	15	4
		15	20	33	37	10	0
4	積極的に自分の意見を発表している。	14	10	9	28	32	21
		15	11	21	34	24	10
5	授業の活動場で積極的に活動している。	14	13	20	42	15	10
		15	14	28	39	13	6
6	新しい学習課題を知りたいと思いつき取り組んでいる。	14	11	11	51	18	9
		15	12	22	45	19	2
7	授業態度(姿勢)良く、学習に取り組んでいる。	14	7	17	47	20	9
		15	13	24	40	19	4

8	学習用具を忘れることなくきちんと準備している	14	21	30	26	17	6
		15	40	30	20	8	2
9	教科書や用具を整え、ベル着をしている。	14	39	18	26	15	2
		15	35	28	24	10	3
10	計画的に家庭学習をしている。	14	10	9	22	22	37
		15	10	10	22	24	34

- ・「4」について...わかっているにもかかわらず、恥ずかしいなど消極的な発表態度である。
- ・「10」について...テスト週間には、計画的に行う生徒は多い。

ウ 「家庭学習についてのアンケート」

H15、12月実施結果

1 テスト期間中に家庭で学習をしますか。その時の学習時間はどのくらいですか。

	1年	2年	3年
毎日学習する。	52%	31%	44%
週に4～6回学習する。	32%	20%	30%
週に1～3回学習する。	17%	30%	19%

	平日	休日
2時間以上	18%	27%
1時間30分～2時間位	25%	22%
1時間～1時間30分位	20%	17%

2 テスト期間以外に家庭で学習をしますか。その時の学習時間はどのくらいですか。

	1年	2年	3年
・毎日学習する。	59%	11%	10%
・週に4～6回学習する。	20%	11%	27%
・週に1～3回学習する。	13%	31%	51%

	平日	休日
2時間以上。	4%	6%
1時間30分～2時間位	4%	8%
1時間～1時間30分位	17%	15%

3 家庭学習の時間は、1学期と比べてどのように変化しました。

長くなった	44%
かわらない	41%

4 家庭学習をしているのはなぜですか。

知識を身につけたいから。	4 1 %
家庭学習が必要なことがわかったから。	4 1 %
その他（将来のために。自分のために。希望する高校に行きたい。など）	

5 家庭学習が思うようにできない理由は何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> ・やり方がよくわからない。 ・何を勉強すればいいかわからない。 ・疲れている。 ・他にやりたいことがある。など
--

エ 「少人数学習アンケート」

H 1 5、7月実施結果

《2、3年英語・3年数学》

1 2学級を3つの集団にして、3人の先生で指導してもらった授業を受けてみてどんな感じを持ちましたか。

	2年英	3年英	3年数
ア よかった	8 1 %	8 6 %	8 6 %
イ 学級での授業の方がよかった	1 9 %	1 4 %	1 4 %

2 1でアと答えた人はその理由を選んでください。

	2年英	3年英	3年数
自分にあった学習内容だったのでよかった	3 7 %	1 7 %	1 9 %
人数が少ないので、先生や友達に聞いたり話したりすることがよくできた	3 0 %	5 4 %	4 1 %
人数が少ないので、よい雰囲気での学習できた	2 8 %	3 4 %	2 7 %
少ない人数なので学習内容がよく理解できた	1 6 %	1 9 %	3 6 %

3 1でイと答えた人はその理由を選んでください。

	2年英	3年英	3年数
授業の内容がわかりにくかった	7 %	1 0 %	8 %
学級が違う人の授業でやりにくかった	5 %	5 %	8 %

4 これからもこのような学習があった方がよいと思いますか。

	2年英	3年英	3年数
これからも英語、数学でやれるとよい	6 2 %	5 8 %	7 1 %
他の教科でもやれるとよい	3 0 %	3 7 %	2 2 %

